

# 令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立南小立野小学校

## ①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	33.8	36.8	20.6	8.8	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	69.1	19.1	8.8	2.9	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	47.1	44.1	4.4	4.4	0.0
問4	英語の授業がわかる。	39.7	51.5	5.9	2.9	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	29.4	52.9	14.7	1.5	1.5
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	30.9	45.6	19.1	2.9	1.5
問7	アルファベットの大文字が書ける。	89.7	7.4	1.5	0.0	1.5
問8	アルファベットの小文字が書ける。	79.4	14.7	2.9	1.5	1.5
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	69.1	20.6	7.4	1.5	1.5
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	23.5	45.6	25.0	4.4	1.5

## ②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・引き続き、担任が積極的にクラスルームイングリッシュを使っていく。
- ・小中連携のために、小学校での取り組みを中学校へ伝達する。
- ・教材の整備や有効な使い方を共有する。

## ③学校関係者評価

- ・英語の勉強の大切さや授業を理解していると回答する割合が高く、特例校制度が有意義であることが分かる。一方で、読む・書く・話すの個別の習熟度や英語の勉強が好きとの回答には、差が見られることから、苦手意識を持つ児童には、小さな成功体験を積み重ねられる工夫が必要だと考えられる。
- ・副読本の文を書き写すことができると感じている児童の割合が高いが、本文を声に出して読むことができるとの回答の割合が低い。音読の時間をもう少し増やしてはどうか。
- ・児童の持つ英語への関心度・興味が高い土壌が作られていることは素晴らしいと思う。この意欲をさらに Nativeな環境を増やすことで「英語＝勉強」ではなく、自分の行動範囲を広げるためのツールとして意識付け、展開していくとよいのではないかと思う。